

令和6（2024）年度 第1回柏崎市環境審議会 議事概要

市民生活部環境課環境政策係

このことについて以下のとおり報告します。

- 日時 令和6（2024）年8月30日（金）13：30～16：15
- 会場 クリーンセンターかしわざき 1階 大会議室
- 出席者
 - 委員 伊藤委員、佐藤委員、田村委員、徳永委員、松澤委員、阿部委員、竹井委員、村山委員、宮田委員、若月委員、春川委員、今井委員（欠席委員：蒼原委員、迎田委員）
 - 事務局 小黒市民生活部長
（環境課）若月課長、今井課長代理、山田課長代理、江部係長、藤田係長、小川主任、若林主事
- 議事概要

各自	1 開会
	2 市民生活部長あいさつ
	3 審議会委員及び事務局 自己紹介 自己紹介をする。
	4 会長・副会長選出 委員の互選により、会長に伊藤委員、副会長に佐藤委員が選出される。
会長	・会長としては、3期目となる。委員の協力のもと、審議会を運営していきたい。
委員	5 作業部会委員選出（ECO2プロジェクト） 会長の指名により、ECO2プロジェクト外部委員会の委員2名に迎田委員、春川委員が選出される。
	6 議事 （1）環境課の所管事務の概要と進捗状況 事務局が【資料1】に沿って説明した。
	・緑のカーテンプロジェクトに、市民からの申込みはあったか。
事務局	・市民による個人の参加はなかった。

委員	・市民は市のホームページを見る機会が少ないので、広報かしわざきでも周知してほしい。
事務局	・今後の周知方法について検討したい。 (2) 柏崎市環境基本計画第3次計画 進行管理報告、柏崎市地球温暖化対策実行計画 進行管理報告、環境マネジメントシステム(かしエコ)編 進行管理報告について 事務局が【資料2-1、2-2、2-3】に沿って説明した。
委員	・事前配布された審議会の資料の一部が、当日にも配布された。環境問題への取組姿勢が疑われるのではないか。
事務局	・事前配布資料に一部修正があったため、当日配布資料に差し替えさせていただいた。今後、資料を訂正することのないよう事前確認するとともに、紙の削減や環境問題に考慮し、取り組んでいきたい。
委員	・資料2-1の2ページ、資料2-2の16ページにある、「民生家庭」と「民生業務」の意味を教えてください。
事務局	・国が区分しているものであり、「民生業務」は、事業活動のうち、オフィス業務である。「産業」に区分けされる「製造業務」とでは、エネルギー使用量が大きく異なるため、区分けされている。また、「民生家庭」とは、一般家庭である。
委員	・市民に知らせる際は、注釈をつけるなど分かりやすくしてほしい。
事務局	・記載方法について検討したい。
委員	・資料の中に、「アンケートを行って意見を取り入れながらプログラムの改善を行った。」とあるが、どのような改善か。また、ふれあい講座とは何か。「ふれあい講座での要請がなかったため、実施しなかった。」とあるが、積極的にPRした方がよいのではないか。
事務局	・環境教育プログラムでの改善点は、具体例として、要望に沿い地球温暖化だけでなく海洋汚染についても取り上げた。エコ教室でも、要望に沿いリサイクルに関する問題を追加するなどの改善を行った。 ・ふれあい講座は、文化・生涯学習課で行っている講座であり、講座メニューから市民が受けたい講座を選択するものである。これとは別に、昨年度は、個別の要請に

	対応して出前講座も行った。
委員	・ 毎回、講座のテーマは違うのか。
事務局	・ 環境分野は幅広いため、講座ごとに内容は異なる。
委員	・ 町内会資源物ステーション設置に対する補助制度の周知方法を教えてほしい。
事務局	・ 町内会へ配布している町内会活動便利帳に掲載して周知している。
委員	・ 環境騒音測定結果では、新赤坂 2 丁目の数値が環境基準に近い。この場所は、国道 8 号バイパスか、それとも国道 8 号か。
事務局	・ 国道 8 号である。
委員	・ 環境リーダー養成講座受講者が地球温暖化防止活動推進員となって活動できるような施策をお願いしたい。
事務局	・ 今年度、環境リーダー養成講座について周知したところ、複数の市民が受講予定である。今後、地球温暖化防止活動推進員を増やすよう取り組んでいきたい。
委員	・ 低炭素型創エネ・省エネ機器導入補助金について、地中熱ヒートポンプ空調・給湯設備は、申請が 0 件であるが、過去に申請はあったのか。市民が容易に導入できるものではないのか。
事務局	・ 過去にも申請はなかった。地中熱ヒートポンプ空調・給湯設備は、井戸を掘る経費が多額となることから一般家庭では実績がなかったものと思われる。
委員	・ 他市の事例で、市役所の冷房に雪を活用している新聞記事を見た。他にも雪室貯蔵のコーヒーなど利雪の取組もある。他市の良い取組を参考に雪を活用した省エネ活動に取り組んではどうか。
事務局	・ 柏崎市でも雪を活用した取組をしたことがあるが、少雪時に苦慮したことから取り止めになったと聞いている。身近にあるものからエネルギーを生み出す視点は非常に大事であり、国の研究などを注視していきたい。
委員	・ 環境教育プログラムとエコ教室は、どのように周知しているのか。

事務局	・環境教育プログラムは市内小中学校の社会科の先生の学習機会に、エコ教室は園長会議に、それぞれ出向いて周知している。
委員	・他の市町村でどのようなプログラムをしているのかなどの情報を集める場はあるか。
事務局	・ネット上で各自治体の事例を入手できるツールがあり、他団体の活動のうち、参考となる内容があるか日頃から確認し、研究している。
委員	・資源物・ごみの分別ガイドブックが作成されて数年経過しており、内容を見直してもらいたい。
事務局	・ゴミの種類が非常に増えているため、ガイドブックの内容について検証しているところである。紙面上で全て知らせることは困難であり、ホームページなども使って周知する方法を検討しているところである。
委員	・エコアクション21について、毎年事業者が増えているようだが累計でどの程度か。どのような目的で、どのような業種の事業者が取得しているのか。 さらに、電気自動車購入補助金の対象となる個人と事業者の割合はどのようになっているのか。
事務局	・エコアクション21の取得事業者数は増えておらず、令和4（2022）年度の登録事業者数は12、令和5（2023）年度の登録事業者数は11である。事業者の登録目的は把握していないが、企業イメージの向上になると思われる。また、登録することによりECO2ポイントの付与対象行動となる。 ・電気自動車については、事業者より個人への補助が多いと認識している。ただし、事業者でも入れ替えが行われており、市内全体では電気自動車に変える方が増えている。
委員	・電気自動車等普及台数の目標が令和7（2025）年度に累計で356台となっており、既に目標値を上回っている。令和7（2025）年度までこの目標値を維持するのか、それとも目標値を見直すのか。
事務局	・令和7（2025）年度は実行計画全体の目標年度となっている。電気自動車等普及台数は目標を達成しているが、達成していない項目もある。令和7（2025）年度に、計画にある各種目標の達成状況を総括した上で、令和8（2026）年度以降に新たな目標を掲げ、取り組んでいきたい。

委員	・資料２－１の８ページにある柏崎市消費者協会の記載について、参加者数の記載が分かりにくいいため修正をお願いしたい。あわせて、秋の収穫祭での販売品はエコバッグとエコ石鹸が主であるので修正をお願いしたい。
事務局	・御指摘を踏まえ修正したい。 ７ 施設見学 クリーンセンターかしわざき場内、太陽光発電施設、蓄電池施設を見学 ８ その他
委員	・クリーンセンター内に掲示されていたプラスチックごみに混ざっていけないものを示した表がとても分かりやすかった。町内会のゴミ置き場に掲示することはできないか。 - また、暑い中の会議や施設見学になるので、開催案内文に熱中症対策のために飲み物を持参するよう記載が欲しい。
事務局	・御意見を踏まえ改善に努めていく。
委員	・ペットボトルの飲み物を出す会議も減ってきており、マイボトルを持ち歩いてもらいたい。
委員	・ペーパーレス化というが、紙資料も必要と感じている。審議会の開催に当たり、ペーパーレス化をどう考えているのか。
事務局	・以前、資料のペーパーレス化を実施したことがあったが、紙資料は必要との要望が多かった。今後は、事前送付の資料に修正がある場合には、会議にて訂正をお願いするなどの対応としたい。
委員	・正誤表を配布するのもよいのではないか。
委員	・ホームページに資料を掲載して、各々確認してくるのもよいのではないか。
事務局	・次回以降、効率よく運営できるよう工夫したい。 ９ 環境課長あいさつ 10 閉会

以上

